

プログラム（第1日目） 12月1日（日）

《 口 演 》

12:55～13:00 開会の辞

第37回日本脳腫瘍学会学術集会会長 永根 基雄

13:00～14:00 ランチョンセミナー1 【領域講習】

座長 園田 順彦

共催 ノボキユア株式会社

「Practical Application and Underlying Biology of Tumor Treating Fields」

Daniela Bota

Clinical Research in the School of Medicine and Neuro-Oncology at University of California,
Irvine, CA, U.S.A

14:00～15:00 特別講演1

座長 市村 幸一

共催 小児脳腫瘍研究支援委員会

「Genetics of Pediatric Brain Tumors: Recent Advances and Future Perspectives」

David T. W. Jones

Pediatric Glioma Research, Deutsches Krebsforschungszentrum (DKFZ),
Heidelberg, Germany

15:00～16:35 アフタヌーンセミナー1（英語） Pediatric Brain Tumors

座長 寺島 慶太、木嶋 教行

共催 大日本住友製薬株式会社

【基調講演】

AS1-1 (KL) チオテパを含む自家末梢血幹細胞救援併用大量化学療法の開発について **日本語**

小児医療センター、大阪市立総合医療センター 原 純一

AS1-2 小児非典型的脳幹部腫瘍の診断・治療と転帰

東京慈恵会医科大学 脳神経外科 柳澤 隆昭

AS1-3 小児がん治療施設における Cancer predisposition の診療に関する調査結果

国立がん研究センター研究所 脳腫瘍連携研究分野 中野 嘉子

AS1-4 脱ユビキチン化反応シグナルは高悪性度中枢性胚細胞腫の新規治療標的となり得る

国立がん研究センター研究所 脳腫瘍連携研究分野 富山 新太

- AS1-5 ヒト iPS 細胞由来脳腫瘍モデルによる AT/RT における胚性幹細胞様遺伝子発現の同定
大阪赤十字病院 脳神経外科 寺田 行範
- AS1-6 ヒトテント上上衣腫特異的に発現する YAP1 融合遺伝子による発がんの分子機構
Hopp-Children's Cancer Center Heidelberg (KITZ), Heidelberg, Germany(ハイデルベルク小児がんセンター) 川内 大輔
- AS1-7 マウス脳 Olig2 発現前駆細胞をターゲットにしたびまん性正中グリオーマモデルの検討
岡山大学大学院 脳神経外科 島津 洋介
- AS1-8 胚細胞腫 190 例における臨床所見・病理所見・分子生物学的所見の統合解析
国立がん研究センター研究所 脳腫瘍連携研究分野 高見 浩数
- AS1-9 DIPG に対する転写伸長反応を制御する新しい治療法
ノースウエスタン大学 医学部 脳神経外科 橋詰倫太郎

16:35 ~ 16:50 チェックインタイム

16:50 ~ 17:50 アフタヌーンセミナー 2 小児脳腫瘍関連てんかん・緩和・認知機能

座長 上羽 哲也、松谷 雅生

共催 第一三共株式会社/ユーシービージャパン株式会社

- AS2-1 小児のてんかンを伴う良性脳実質内腫瘍の治療
東京都立神経病院 脳神経外科 松尾 健
- AS2-2 小児脳腫瘍の高次脳機能障害
神奈川県リハビリテーション病院 小児科 吉橋 学

17:50 ~ 18:30 シンポジウム 1 緩和・QOL・認知機能

座長 柳澤 隆昭、杉山 一彦

- S1-1 悪性脳腫瘍の advance care planning (人生会議) と緩和ケアの現状と問題点
京都医療センター 脳神経外科 青木 友和
- S1-2 グリオーマ患者の術後 Quality of life の維持に寄与する脳機能から考察する覚醒下手術
金沢大学 リハビリテーション科学領域 中嶋 理帆
- S1-3 膠芽腫患者の終末期医療の実際
国立がん研究センター中央病院 大村 朋子
- S1-4 脳腫瘍患者における最適な QOL 評価スケールの検討
国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科 里見(津下) 奈都子

S1-5 がんゲノム医療時代における遺伝性脳腫瘍疾患—多科連携・遺伝カウンセリングの重要性—
東京大学 医学部 脳神経外科 高柳 俊作

19:15 ~ 21:00 Welcome Dinner

《 ポスターセッション 》

21:00 ~ 21:45 ポスターセッション 1-1 標準治療・予後因子

座長 大野 誠

- P1-1-1 テモゾロミドと放射線併用治療後に再発した膠芽腫に対する治療と予後
関西ろうさい病院 脳神経外科 森 鑑二
- P1-1-2 透析患者に対するテモゾロミドを用いた悪性神経膠腫の治療— 8例の多施設 review より—
藤田医科大学 医学部 武藤 淳
- P1-1-3 集学的治療により長期生存しえた膠芽腫についての検討
筑波大学 医学医療系 脳神経外科 山田依里佳
- P1-1-4 実臨床における膠芽腫標準治療
順天堂大学医学部附属練馬病院 脳神経外科 菱井 誠人
- P1-1-5 当院における高齢者膠芽腫の治療成績
京都府立医科大学大学院 医学研究科 脳神経機能再生外科学 高橋 義信
- P1-1-6 高齢者の脳腫瘍に対する薬物療法の適応条件：システムティック・レビューと展望
滋賀医科大学 脳神経外科 中洲 庸子
- P1-1-7 初発低悪性度神経膠腫摘出術後の非治療介入 236例を用いた予後関連因子の検討
東京女子医科大学 先端生命医科学研究所 先端工学外科学分野 生田 聡子
- P1-1-8 無症候性グリオーマの治療適応とタイミング
奈良県立医科大学 脳神経外科 松田 良介
- P1-1-9 脳腫瘍臨床試験において研究者支援が品質管理と品質保証に及ぼす影響の検討
京都大学医学部附属病院 がんセンター 古川 恵子

21 : 45 ~ 22 : 05 ポスターセッション 1-2 TTF

座長 赤崎 安晴

P1-2-1 膠芽腫に対する NovoTTF 療法、当院における初期導入経験

北海道大学医学研究院 脳神経外科 山口 秀

P1-2-2 オプチューンの初期使用経験

国立がん研究センター 脳脊髄腫瘍科 大村 鷹希

P1-2-3 交流電場腫瘍治療システム施行中の患者の皮膚トラブル対応とチーム連携

慶應義塾大学病院 看護部 外来 山本由利子

P1-2-4 交流電場腫瘍治療システム (TTF) の治療経験と臨床現場への適用方法

杏林大学 医学部 脳神経外科 島田 大輔

22 : 05 ~ 22 : 25 ポスターセッション 1-3 免疫療法

座長 赤崎 安晴

P1-3-1 初発悪性神経膠腫に対する WT1-W10 免疫療法

高知大学 医学部 脳神経外科 川西 裕

P1-3-2 自家腫瘍ワクチンによる初発膠芽腫第 III 相比較試験

東京女子医科大学 脳神経外科 新田 雅之

P1-3-3 Pembrolizumab を使用できなかった Lynch 症候群に合併した膠芽腫の 2 例

国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科 高橋 雅道

P1-3-4 膠芽腫を対象とした抗がんウイルス G47 Δ の第 II 相試験のサイトカイン解析

東京大学医科学研究所附属病院 脳腫瘍外科 田中 実

21 : 00 ~ 22 : 00 ポスターセッション 2-1 小児脳腫瘍

座長 五味 玲

P2-1-1 Germinoma に対する治療 29 年後に発症した放射線誘発神経膠芽腫の稀な 1 症例

国立病院機構 長崎医療センター 脳神経外科 松尾 彩香

P2-1-2 小児悪性神経膠腫例に対する BCNU wafer 留置の検討

三重大学大学院 医学系研究科 脳神経外科学 池澤 宗成

P2-1-3 小児中枢神経系腫瘍の臨床学的特徴

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 脳神経外科 比嘉那優大

- P2-1-4 DIPG 再燃時の QOL 維持における Bevacizumab の有用性
自治医科大学 とちぎ子ども医療センター 小児脳神経外科 五味 玲
- P2-1-5 上衣腫における集学的治療に関する現状と考察
神奈川県立こども医療センター 脳神経外科 広川 大輔
- P2-1-6 Pituitary ependymoma の一例
滋賀医科大学 医学部 脳神経外科 深見 忠輝
- P2-1-7 播種を認める小児 pilocytic astrocytoma の治療
埼玉医科大学国際医療センター 脳脊髄腫瘍科 / 脳神経外科 鈴木 智成
- P2-1-8 Pilocytic astrocytoma with anaplastic features の一例
東海大学 医学部 外科学系 脳神経外科学領域 横田 和馬
- P2-1-9 ARHGEF2-NTRK1 融合遺伝子を有する高悪性度 glioneuronal tumor の 1 例
岡山大学大学院 脳神経外科 坪井 伸成
- P2-1-10 初発時から 9 年後に再発した髄芽腫の 1 例
埼玉県立小児医療センター 平木 崇正
- P2-1-11 非典型的な MRI 所見を呈した成人発症髄芽腫
愛媛県立中央病院 脳卒中センター 脳神経外科 大上 史朗
- P2-1-12 中枢神経病変を伴った網膜芽細胞腫の 6 例
国立成育医療研究センター 小児がんセンター 清谷知賀子

22:00 ~ 22:35 ポスターセッション 2-2 放射線治療

座長 山本 哲哉

- P2-2-1 再発髄芽腫に対するガンマナイフとベバシツマブを併用した AVAgamma 療法の治療成績
中村記念病院 脳神経外科 脳腫瘍センター ガンマナイフセンター 佐藤 憲市
- P2-2-2 再発 grade II/III glioma に対する Bevacizumab 併用ガンマナイフ定位照射の治療成績
中村記念病院 脳神経外科 脳腫瘍センター 浅野目 卓
- P2-2-3 高齢者髄芽腫に対する術後サイバーナイフ低分割放射線治療
日本赤十字社医療センター 脳神経外科・サイバーナイフセンター 田部井勇助
- P2-2-4 脳幹部病変に対する放射線治療
長崎大学病院 脳神経外科 吉田 光一

- P2-2-5 膠芽腫治療における陽子線照射の可能性
筑波大学 医学医療系 脳神経外科 松田 真秀
- P2-2-6 ホウ素中性子捕捉療法の治療計画における PET 検査
大阪医科大学 医学部 脳神経外科 川端 信司
- P2-2-7 転移性脳腫瘍に対する定位放射線照射後に外科的切除を要した症例の検討
奈良県立医科大学 脳神経外科 森本 堯之

21:00 ~ 21:40 ポスターセッション 3-1 手術関連 1

座長 藤井 正純

- P3-1-1 膠芽腫に対する術前化学療法および術中支援システム(術中 MRI、PET)を用いた治療戦略
香川大学 医学部 脳神経外科 三宅 啓介
- P3-1-2 インテリジェント手術室における術中 MRI を核とした情報誘導手術 1989 例の臨床成績
東京女子医科大学 脳神経外科 都築 俊介
- P3-1-3 覚醒下手術の臨床的有効性に関する検討—摘出率と生存期間に関する 335 例の解析—
東京女子医科大学 脳神経外科 福井 敦
- P3-1-4 Insular glioma に対する当院での覚醒下手術の手術成績と機能予後
千葉大学大学院 医学研究院 脳神経外科 廣野誠一郎
- P3-1-5 積極的摘出を行った島回神経膠腫 70 例からの検討
東京女子医科大学 脳神経外科 丸山 隆志
- P3-1-6 一次運動野に発生したグリオーマに対する摘出術の 2 症例
大阪大学大学院 医学系研究科 脳神経外科 木嶋 教行
- P3-1-7 視床～視床後方の神経膠腫に対する手術戦略
杏林大学 医学部 脳神経外科 齊藤 邦昭
- P3-1-8 当院での高解像度 3D 外視鏡を用いた脳腫瘍手術の経験
岡山大学大学院 脳神経外科 藤井謙太郎

21:40 ~ 22:20 ポスターセッション 3-2 手術関連 2

座長 丸山 隆志

- P3-2-1 再発した原発性悪性脳腫瘍に対する積極的切除術と PDT の効果
関西医科大学 脳神経外科 埜中 正博

- P3-2-2 再発悪性神経膠腫に対する光線力学療法 of 初期経験と MRI 画像の経時的変化
大阪医科大学附属病院 脳神経外科 吉村 亘平
- P3-2-3 標準的治療を受けた膠芽腫症例において術中の広い脳室開放が生存予後に与える影響
東京女子医科大学 脳神経外科 齋藤 太一
- P3-2-4 髄内腫瘍における術前 3D fusion 画像を用いた fence-post 法の planning
山口大学医学部附属病院 脳神経外科 貞廣 浩和
- P3-2-5 悪性脳腫瘍に対するアミノレブリン酸塩酸塩内用薬による術中蛍光診断の後方視的解析
杏林大学 医学部 脳神経外科 小林 啓一
- P3-2-6 5-ALA を使用した膠芽腫摘出術における術中 CT の役割
福井大学 医学部 脳脊髄神経外科 山内 貴寛
- P3-2-7 頭蓋咽頭腫手術における視機能温存のための Visual evoked potential モニタリング
長崎大学病院 脳神経外科 馬場 史郎
- P3-2-8 85 歳の高齢者に対し覚醒下開頭腫瘍摘出術を行った左前頭葉悪性神経膠腫の 1 例
岡山大学大学院 脳神経外科 兼田 圭介

21:00 ~ 21:50 ポスターセッション 4-1 画像診断 1

座長 神部 敦司

- P4-1-1 Lower grade glioma における T2-FLAIR ミスマッチサインの臨床的意義
静岡県立静岡がんセンター 脳神経外科 出口 彰一
- P4-1-2 diffuse glioma と DNT における T2-FLAIR mismatch sign
広島大学大学院 医歯薬保健学研究科 脳神経外科学 大西 俊平
- P4-1-3 神経膠腫診断における MRI-APT 画像の有用性について
宮崎大学 医学部 臨床神経科学講座 脳神経外科学分野 山下 真治
- P4-1-4 術中 MRI における ASL の利用の試みと問題点
東海大学 医学部 脳神経外科 西山 淳
- P4-1-5 術前 ADC による膠芽腫再発部位の予測
山形大学 医学部 脳神経外科 松田憲一郎
- P4-1-6 Grade2,3 神経膠腫における MET-PET での IDH 変異と MGMT プロモーターメチル化率の予測
大阪国際がんセンター 脳神経外科 沖田 典子

- P4-1-7 Glioma の遺伝子診断における PET 検査の有用性
香川大学 医学部 脳神経外科 小川 智也
- P4-1-8 造影 MRI と PET 検査による Glioma の WHO grade 診断について
木沢記念病院 中部療護センター 脳神経外科 武井 啓晃
- P4-1-9 膠芽腫におけるアバスチン投与後のメチオニントレーサ集積に関する病理学的検討
岩手医科大学 脳神経外科 別府 高明
- P4-1-10 gliomatosis cerebri の臨床病理学的解析とメチオニン PET 解析
岐阜大学 医学部 脳神経外科 矢野 大仁

21 : 50 ~ 22 : 45 ポスターセッション 4-2 画像診断 2

座長 阿部 竜也

- P4-2-1 脳機能統合的イメージング ; 経頭蓋磁気刺激法による言語機能マッピングの有用性
名古屋大学 医学部 脳神経外科 本村 和也
- P4-2-2 神経膠腫における複合現実技術を用いた術中脳表電気刺激とトラクトグラフィーとの相関
東京大学 医学部 脳神経外科 小池 司
- P4-2-3 膠芽腫を標識する噴霧式新規蛍光プローブの開発
東京大学大学院 医学系研究科 脳神経外科 北川 陽介
- P4-2-4 画像上 Gradell と判定された Gliomatosis cerebri は、本当に Gradell 相当の glioma か？
木沢記念病院・中部療護センター 大鷲 悦子
- P4-2-5 低悪性度神経膠腫における予後因子としての白質浸潤
佐賀大学 医学部 脳神経外科 中原由紀子
- P4-2-6 小児後頭蓋窩腫瘍の術前画像診断アルゴリズム
広島大学病院 脳神経外科 米澤 潮
- P4-2-7 グリオーマの放射線壊死鑑別に有用な画像診断— systematic review のサブ解析より—
大阪医科大学 医学部 脳神経外科 古瀬 元雅
- P4-2-8 Advanced MRI による頭蓋内胚細胞性腫瘍画像の特徴
広島大学大学院 医系科学研究科 脳神経外科学 高野 元気
- P4-2-9 超高精細 CT における脳腫瘍手術支援画像での脳表静脈描出能の検討
杏林大学医学部附属病院 放射線部 小柳 正道

P4-2-10 悪性神経膠腫摘出における術前脳血管撮影の有用性
杏林大学医学部附属病院 脳神経外科 松本 淑恵

P4-2-11 眼窩内腫瘍の術前悪性度評価における 123IMP-SPECT の有用性について
東邦大学 医学部 医学科 脳神経外科学講座（佐倉） 小此木信一

21 : 00 ~ 22 : 05 ポスターセッション 5-1 緩和・QOL

座長 松谷 智郎

P5-1-1 KPS を考慮した高齢者 glioblastoma の治療
埼玉県立がんセンター 脳神経外科 大澤 匡

P5-1-2 膠芽腫再発後 Bevacizumab 継続投与は終末期在宅療養期間を延長する
千葉大学大学院 医学研究院 脳神経外科 松谷 智郎

P5-1-3 膠芽腫の治療経過における経時的 QOL 評価の意義
杏林大学 医学部 脳神経外科 山岸 夢希

P5-1-4 悪性神経膠腫終末期に既存の予後予測指標は有効か
京都府立医科大学 医学部 脳神経外科 武内 勇人

P5-1-5 脳腫瘍患者に対する視覚的認知機能評価の有用性
国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科 八尋佐知子

P5-1-6 両側前頭葉膠芽腫における術後高次脳機能と ADL 能力の特徴
東京女子医科大学 リハビリテーション部 角田 明子

P5-1-7 中枢神経系原発悪性リンパ腫における初期治療の効果—日常生活動作と認知機能から—
杏林大学医学部附属病院 リハビリテーション室 宅 美貴子

P5-1-8 初発神経膠腫患者に対する術後早期リハビリテーション医療
杏林大学医学部附属病院 リハビリテーション室 池田 光代

P5-1-9 初発悪性神経膠腫に対する短期集中リハビリテーションの効果と医療連携の重要性
一般社団法人巨樹の会 五反田リハビリテーション病院 前田 健志

P5-1-10 脳腫瘍患者への WHODAS 導入の試み
杏林大学医学部附属病院 リハビリテーション室 石田 幸平

P5-1-11 悪性神経膠腫患者家族の QOL に影響する要因
東京大学医学部附属病院 リハビリテーション部 梅崎 成子

P5-1-12 サポートグループ活動による原発悪性脳腫瘍患者の家族支援

国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院 堀川真由弥

P5-1-13 脳腫瘍患者とその家族の治療や終末期医療の意思決定の支援に関連した文献検討

国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院 看護部 岸 達也

22:05 ~ 22:40 ポスターセッション 5-2 合併症・感染

座長 金森 政之

P5-2-1 初発 Grade 2/3 神経膠腫における IDH 変異と腫瘍関連てんかんおよび深部静脈血栓症の検討

東北大学大学院 医学系研究科 神経外科学分野 長田 佳整

P5-2-2 テモゾロミドによる悪心・嘔吐に伴う食欲不振に対する六君子湯の効果の検討

弘前大学大学院 医学研究科 脳神経外科学講座 片山 耕輔

P5-2-3 当施設における髄芽腫の予後と晩期合併症

兵庫県立こども病院 脳神経外科 河村 淳史

P5-2-4 脳囊虫症が疑われた在日ネパール人の一例

東邦大学 医学部 医学科 脳神経外科学講座 (大森) 三海 正隆

P5-2-5 テモゾロミド投与中の B 型肝炎ウイルスの再活性化

東北大学大学院 神経外科学分野 金森 政之

P5-2-6 入院時から無症候性の肺動脈塞栓・深部静脈血栓症を認めた膠芽腫の 2 症例

昭和大学 医学部 脳神経外科 小林 裕介

P5-2-7 悪性脳腫瘍周術期の D-dimer と静脈血栓症の検討

杏林大学 医学部 脳神経外科 島田 大輔

21:00 ~ 21:40 ポスターセッション 6-1 その他の腫瘍 1

座長 岡 秀宏

P6-1-1 腰椎転移を来した右頭頂葉膠芽腫の一例

東京大学 脳神経外科 松橋 阿子

P6-1-2 30 歳代で発症した IDH-1 R132H 変異を有する兄弟の low grade glioma

福井大学 医学部 脳脊髄神経外科 北井 隆平

P6-1-3 全脊髄進展を来した gliomatosis cerebri の一例

大阪母子医療センター 脳神経外科 千葉 泰良

- P6-1-4 Extra-parenchymal (Peripheral) Atypical Teratoid / Rhabdoid Tumors
北里大学メディカルセンター 脳神経外科学 岡 秀宏
- P6-1-5 孤発性・VHL による血管芽腫の違い；184 例の解析による臨床・画像所見の特徴の解明
メイヨークリニック 高見 浩数
- P6-1-6 von-Hippel Lindau 病に対する Pazopanib の使用経験
和歌山ろうさい病院 林 宣秀
- P6-1-7 腹臥位での手術室 CT 連動 needle biopsy で全摘出された小さな小脳 Hemangioblastoma の 1 例
聖隷浜松病院 脳神経外科 稲永 親憲
- P6-1-8 嗅神経芽細胞腫の進行度に応じた治療戦略決定のための新分類の提唱
北海道大学大学院 医学研究院 脳神経外科 茂木 洋晃

21 : 40 ~ 22 : 20 ポスターセッション 6-2 その他の腫瘍 2

座長 佐々木 惇

- P6-2-1 三叉神経鞘腫術後に malignant peripheral nerve sheath tumor を生じた一例
市立東大阪医療センター 脳神経外科 茶谷めぐみ
- P6-2-2 第四脳室内に発生した成人 Choroid plexus carcinoma の一例
愛媛県立中央病院 臨床研修センター 武田晋太郎
- P6-2-3 CIC rearrangement を伴う頭蓋内原発肉腫の一例
東京大学 医学部 脳神経外科 田中 將太
- P6-2-4 巨大な嚢胞形態を示した頸髄神経鞘腫の 1 例
国保水俣市立総合医療センター 脳神経外科 竹島 裕貴
- P6-2-5 OEC tumor との鑑別を要した CD57 陰性 Olfactory groove schwannoma の 1 例
東邦大学 医学部 医学科 脳神経外科学講座 (大森) 栴田 博之
- P6-2-6 高齢者非機能性下垂体腺腫に対する内視鏡下手術の検討
長崎大学 医学部 脳神経外科 鎌田 健作
- P6-2-7 抗 RANKL 阻害剤が有効であった頭蓋底骨巨細胞腫の一例
松山赤十字病院 脳神経外科 梶原 佳則
- P6-2-8 Astroblastoma の臨床的特徴と分子生物学的解析結果
香川県立中央病院 脳神経外科 市川 智継

23 : 00 ~ 23 : 30 Scintillating Poster Discussion 1-1

座長 大場 茂生

SPD1-1-1 MMR 欠損 TMZ 抵抗性神経膠腫に対する PARP 阻害剤併用による TMZ 抵抗性の克服

獨協医科大学 脳神経外科 樋口 芙未

SPD1-1-2 Grade2,3 神経膠腫における MET-PET での IDH 変異と MGMT プロモーターメチル化率の予測

大阪国際がんセンター 脳神経外科 沖田 典子

SPD1-1-3 覚醒下手術の臨床的有効性に関する検討—摘出率と生存期間に関する 335 例の解析—

東京女子医科大学 脳神経外科 福井 敦

Discussant

藤田医科大学 医学部 脳神経外科 大場 茂生

23 : 30 ~ 24 : 00 Scintillating Poster Discussion 1-2

座長 黒住 和彦

SPD1-2-1 再発悪性脳腫瘍に対する治療用放射性薬剤 ⁶⁴Cu-ATSM 第一相試験

国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科 宮北 康二

SPD1-2-2 TERT promoter mutation は IDH wildtype LGG において最も重要な予後予測因子である

国立がん研究センター研究所 脳腫瘍連携研究分野 藤本 健二

SPD1-2-3 機械学習による神経膠腫尿中バイオマーカーの探索

名古屋大学大学院 医学系研究科 脳神経外科学 北野詳太郎

Discussant

岡山大学大学院 脳神経外科 黒住 和彦